

## 製法・素材の融合が生む新規不織布

— 生分解やリサイクルなど環境をテーマに出展 —

ユニチカ(株)スパンボンド事業本部 スパンボンド営業部部長 川崎 寛



川崎寛部長

### 生分解性素材やリサイクル原料の採用で環境に配慮

われわれスパンボンド事業本部では、ANEX06に環境をテーマに出展する。ユニチカは全社的にも環境問題に正面から取り組んでいるので、われわれとしてもその一端を担う意味からも環境やエコロジーに焦点を当てる。

具体的には、スパンボンド、スパンレース、ニードルパンチという3つの製法によりつくられる不織布をテーマに沿って紹介する。

スパンボンドでは、植物由来のポリ乳酸を原料とする生分解性不織布“テラマック”をはじめ、再生ペットボトルを原料とする“エコミックス”，そしてVOC対策品の3製品を中心に展示する。

“テラマック”スパンボンドは、農業資材(植木ポットなど)や生活資材(包材・バッグ・ヘッドレストなど)、産業資材(土木用や自動車用カーペット基布など)への採用が進んでおり、ANEXを契機に販売強化に繋がりたい。また世界的知名度を高めるために、海外来場者にアピールすることも今回の出展の狙いである。

再生ペットボトルを利用した“エコミックス”は、環境に配慮した製品



“テラマック”スパンボンド製植樹ポット

としてエコマークを取得しており、主に土木用ジオテキスタイルとしての採用が進んでいる。リサイクル原料を使用した同製品は今後伸びていくと見ている。

VOC対策製品は、自動車用カーペットの加工にノンホルマリン接着剤を使用した製品で、自動車業界のVOC濃度の自主基準制定を追い風に販売量を伸ばしている。

このほか環境のテーマからは外れるが不織布展であることを考慮して、2成分複合型スパンボンド“エルベス”や、超極細繊維使用の高密度スパンボンド“アルシーマ”なども展示する予定である。

### コットンに加えリヨセルや化繊混紡素材で多彩なニーズに対応

スパンレースでは、環境のテーマに合致する、人と地球にやさしいコットン100%素材の“コットエース”をはじめ、ユーカリパルプを原料とするリヨセル100%素材の“ルベナ”や、コットン60%・ポリエステル40%素材の“エスコット”，コットン50%・特殊分割繊維50%素材の“エスコットファイン”などを紹介する。

“コットエース”は、素材特性に加えバインダーを使用していない点が評価され、化粧落としやフェイスマスク、バンティライナー、男性用洗顔ペーパーなど有名ブランド製品に多く採用されている。またガーゼや消毒綿など医療関係でも、今後採用が増えていくと見ている。

生分解性においては“テラマック”とバッティングするが、長繊維と短繊維という形での棲み分けができると考えている。

“ルベナ”は、繊維強度と低発塵性に優れることから工業用ワイパーへの採用が進んでいる。さらにコットンとの複合品を化粧雑貨関係に供給を開始した。

コットンスパンレースを採用する傾向は世界的に高まっているが、メーカー数が極端に少ないので、今後その需要はますます拡大すると見ている。

### ユニチカの総合力との融合

ニードルパンチでは、グループ企業のユニチカエヌピークロスが製造・販売する伸縮性パップ剤基布を中心に紹介する。同製品のほかにももう1本柱を建てるのがここでの課題だが、そのためにはユニチカの総合力と、ニードルパンチを融合させる必要がある。

当社の強みは、このように顧客の要望に応じて、他社にない複数の製法・素材を組み合わせることにより、これまでになく不織布が作り出せることにある。

5年、10年後の国際社会のなかで、環境はビジネスという観点から捉えてもひとつの大きな柱になるに違いない。これまで培った知識や経験を土台に、時代に即応したものづくりを通して、地球環境の保全に繋がっていきたく考えている。